



## 地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例

①市区町村名	尾花沢市
②人口（※1）	18,496人 ( )
③高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	65歳以上高齢化率 32.87% ( ) 75歳以上高齢化率 20.72%
④取組の概要	「尾花沢市除雪ボランティアセンター」 冬期間克雪対策として、要援護者世帯等の家屋周辺の除雪作業を行う除雪ボランティアを募集受入れし、関係機関との連携、適正な情報収集・提供、ボランティアの需要と供給を調節する等、迅速な対応を行う。
⑤取組の特徴	ボランティアセンターの事務局を社会福祉協議会内に設置し24年度にたちあげた。活動に当たっては尾花沢市民雪研究会、宮沢地区安全な雪下ろし実行委員会等、多数の市民団体が参加し、県や市などの行政機関の協力も得ながら活動を実施。
⑥開始年度	平成24年度
⑦取組のこれまでの経緯	雪に関しては、平成15年度頃より様々な市民レベルでの取組みがあった。それらで協議し、地域コミュニティの維持向上、広域的なボランティアの募集、除雪ニーズの把握をし、コーディネート組織を整備し受け入れ態勢の充実を図る事を目的に本事業を立ち上げた。
⑧主な利用者と人数	自力で除雪困難な世帯（要援護者世帯）等。 77件（うち、豪雪対策本部主催が42件）
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	事務局：尾花沢市社会福祉協議会 技術指導協力機関：尾花沢市建設協会・宮沢地区安全な雪下ろし実行委員会・尾花沢市民雪研究会・その他団体 協力団体：山形県（企画振興部市町村課・村山総合支庁・県社会福祉協議会） 尾花沢市（健康福祉課・総務課危機管理係・雪対策新エネルギー推進室・社会教育課・区長・民生委員）
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	尾花沢市除雪ボランティアセンター活動事業補助金等（50万円）
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	
⑫取組の課題	次年度以降の活動の継続。事務局機能の負担。広域ボランティアの確保。イベント的な活動から日常的な活動への移行。更なる活動のPR。
⑬今後の取組予定	
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	尾花沢市健康福祉課 Tel0237-22-1111（内線166）

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

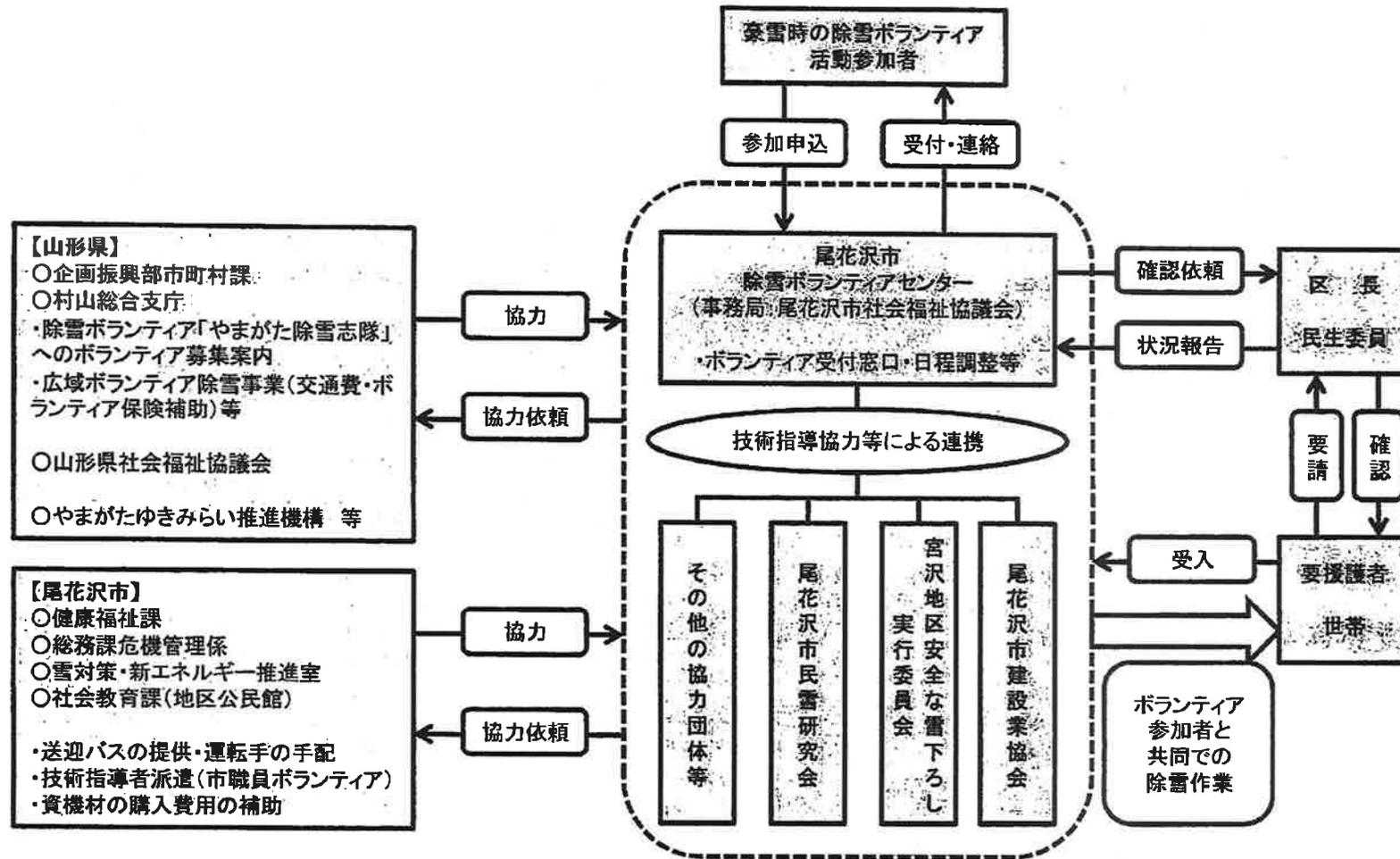
※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。





# ～尾花沢市の除雪ボランティアセンター～

## (3) 尾花沢市除雪ボランティアセンター活動体制





# ～尾花沢市の除雪ボランティアセンター～

## (4) 平成24年度の除雪ボランティア活動

日にち	活動名	主催者	活動場所 (件数)	参加者数	地元協力者	除雪ボランティア センターの役割
1/22(火)	尾花沢中学校 「雪かき塾」	尾花沢市民雪研 究会	尾花沢市本 町地区(12 件)	尾花沢中学校2年生:74名 民生委員・区長:8名	指導者:14名 県職員:9名 社協職員:2名(107名)	除雪ニーズの把握、 除雪計画、資機材 の提供
1/26(土)	おばね雪ほり隊「高 齢者世帯の除雪」	尾花沢市除雪ボ ランティアセン ター	尾花沢市福 原地区、本 町地区(14 件)	広域募集(個人):9名 同(岩沼社協):35名 市内建設業ボランティア:6名 地域おこし協力隊:3名	指導者:1名 市職員:10名(指導者) 県職員:2名 社協職員:2名(85名)	主催者、広域ボラ ンティアの募集、 除雪ニーズの把握、 除雪計画の作成、 資機材の提供
2/2(土)～2/3(日)	おばね雪ほり隊「高 齢者世帯等の除雪」	尾花沢市除雪ボ ランティアセン ター	尾花沢市玉 野地区、常盤 地区(3件)	広域募集(個人):11名 地域おこし協力隊:3名 ※2日間の累計	指導者:2名、市職員:3 名、県職員:3名、社協職 員:4名(28名)	
2/7(木)	豪雪ボランティア	尾花沢市豪雪対 策本部	尾花沢市全 域(20件)	広域募集(個人):4名 岩沼市職員:19名 大崎市職員:15名 地域おこし協力隊:1名、市民:70名	市職員:36名 社協職員:4名、民生委 員・区長:15名(164名)	広域ボランティア の募集、除雪ニー ズの把握、資機材 の提供
2/17(日)	宮沢地区共助によ る地域除雪	宮沢地区安全な 雪降りし実行委 員会	尾花沢市宮 沢地区正勝 地区(3件)	広域ボランティア(東北工大):18名 正勝地区住民:32名	指導者:10名 市職員:8名、県職員:4 名、社協:1名(79名)	広域ボランティア の募集、資機材の 提供
2/23(土) ～2/23(日)	雪国交流「雪かきマ イスター養成講座」	鶴子地区連合区	尾花沢市鶴 子地区(3件)	広域ボランティア(仙台市):10名 鶴子地区住民15名	指導者:1名 市職員:3名(29名)	資機材の提供
2/28(木)	豪雪ボランティア	尾花沢市豪雪対 策本部	尾花沢市全 域(22件)	尾花沢市役所、尾花沢市社協他 市内外団体の職員総勢約50名	同左(152名) 総延べ数(77件)644名	資機材の提供

除雪活動の様子(雪かき塾)



雪かき塾の集合写真



除雪活動の様子(おばね雪ほり隊)



宮沢地区共助による地域除雪



## ～尾花沢市の除雪ボランティアセンター～

### (6)活動の成果と課題

#### ◆成果

- ・除雪ボランティアセンターの活動PRにより、新たに地元企業の従業員ボランティアが除雪活動に参加するなど、共助による地域除雪への機運が高まりました。
- ・除雪ボランティアセンターがコーディネート機能を担うことで、各ボランティア活動における除雪ニーズの把握や広域ボランティアの募集が容易になりました。
- ・除雪ボランティアセンターの活動が初年度にもかかわらず、行政の職員や地域の皆様の多大な協力があり、事故なく終了したことが大きな成果である。

#### ◆課題

- ・来年度以降の活動の継続(例:新規地区の共助による地域除雪等)
- ・事務局機能の負担(例:民生委員の教育訓練等)
- ・広域ボランティアの確保(例:銀山温泉宿泊除雪ボランティアツアー等)
- ・イベント的な除雪活動から日常的な除雪活動への移行(例:尾花沢市民を対象に除雪ボランティア登録制度等)
- ・更なる活動のPR(ボランティア参加者アンケートでは、PR不足との指摘も多い)